

平成26年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月25日

上場会社名 株式会社 プラネット
 コード番号 2391 URL <http://www.planet-van.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田上 正勝
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経営企画部長 (氏名) 滝山 重治
 四半期報告書提出予定日 平成26年3月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 03-5962-0811
 平成26年4月7日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年7月期第2四半期の業績(平成25年8月1日～平成26年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年7月期第2四半期	1,374	2.9	384	10.9	401	9.0	235	6.6
25年7月期第2四半期	1,335	△0.3	347	△2.8	367	0.9	220	12.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年7月期第2四半期	35.46	—
25年7月期第2四半期	33.26	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年7月期第2四半期	3,408	2,836	83.2
25年7月期	3,387	2,709	80.0

(参考)自己資本 26年7月期第2四半期 2,836百万円 25年7月期 2,709百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年7月期	—	15.00	—	19.00	34.00
26年7月期	—	16.00	—	—	—
26年7月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年7月期の業績予想(平成25年8月1日～平成26年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,700	0.3	645	△7.2	650	△10.9	400	△9.1	60.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年7月期2Q	6,632,800 株	25年7月期	6,632,800 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年7月期2Q	1,823 株	25年7月期	1,776 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年7月期2Q	6,631,016 株	25年7月期2Q	6,631,024 株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における日本経済は、政府の経済政策の影響により、企業収益や個人消費に持ち直しの兆しが見られるなど回復基調で推移しましたが、当社の中心的な対象市場である一般消費財流通業界は、依然として店頭での激しい販売競争が続いており、厳しい事業環境となりました。

このような状況下ではありますが、当社は、従来に引き続き、日用品・化粧品及び一般用医薬品（OTC医薬品）、ペットフード・ペット用品などの各業界におけるメーカー・流通業間のさらなる取引業務効率化のため、主たる事業であるEDI（電子データ交換）のサービス利用企業の増加とデータ利用の拡大を目指して活動してまいりました。

さらに、EDIサービスと共に利用されるデータベースサービスの付加価値向上のための取組みに注力いたしました。なお、2013年11月に、東京・大阪にて当社サービス利用企業を対象とするユーザー会を実施し、当社サービスの内容と活用事例に関する理解促進を図りました（合計315社・585名が参加）。また、2014年1月に、業界全体のコスト削減とペーパーレス化を目的として、一般消費財の流通関係者向けに、商品データベースに登録された商品情報を活用して制作した『2014年春夏新製品カタログ』を発行いたしました。

事業別の活動状況は以下のとおりです。

・EDI事業

メーカー・卸売業間の「基幹EDI」サービスのさらなる普及活動に加えて、業界のオンライン取引の一層の推進を図るべく、Web受注一仕入通信サービス「MITEOS（ミテオス）」の販促活動に努めました。

・データベース事業

EDIサービスと共に利用される「取引先データベース」の付加価値をさらに向上させるため、マーケティング項目属性の追加に関する検討を進めました。

・その他事業

業界のBtoEサービスである「バイヤーズネット」の、今後のモバイル対応の方向性を探るべく研究開発を進めました。また、業界の膨大な取引データをビッグデータとして上手く活用することで実現し得る「見える化」サービスに関する研究と事業機会の探索を継続いたしました。

これら3つの事業への取組みの結果、既存の利用企業による当社サービス利用率が高まったことと、新規の利用企業数が増加したことにより、主にEDI通信処理データ量が伸びたことに支えられ、当第2四半期累計期間の売上高は1,374百万円（前期比2.9%増）、営業利益は384百万円（前期比10.9%増）となり、経常利益は401百万円（前期比9.0%増）、四半期純利益は235百万円（前期比6.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ20百万円(0.6%)増加し、3,408百万円となりました。また、流動資産は34百万円(1.5%)増加し、2,278百万円となりました。これは主に現金及び預金が44百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は前事業年度末に比べ13百万円(1.2%)減少し、1,129百万円となりました。これは主にソフトウェアが減

少したこと等によるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ 106 百万円 (15.7%) 減少し、571 百万円となりました。流動負債は 105 百万円 (20.6%) 減少し、407 百万円となりました。これは主に未払金の減少等によるものであります。また、固定負債は前事業年度末に比べて 0 百万円 (0.4%) 減少し、164 百万円となりました。これは主に退職給付引当金の減少等によるものであります。

純資産の部は、利益剰余金の増加等により、前事業年度末に比べ 127 百万円 (4.7%) 増加し、2,836 百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ 44 百万円増加し、1,858 百万円となりました。

また、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は、335 百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益（393 百万円）の計上及び減価償却費（98 百万円）の計上があった一方で、法人税等の支払額（128 百万円）があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動により使用した資金は、165 百万円となりました。これは、ソフトウェアの取得（155 百万円）があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動により使用した資金は、125 百万円となりました。これは、配当金の支払等によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期は、従来に引き続き、日用品・化粧品、一般用医薬品、ペットフード・ペット用品に加え、隣接した各業界へ当社の主たる事業である E D I の普及活動を続け、中長期的に安定した成長を目指してまいります。今年度通期の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益の業績予想については平成 25 年 9 月 17 日に公表したとおりであります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年7月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,844,180	1,888,546
売掛金	363,325	349,982
商品	—	1,423
有価証券	7,298	8,131
前払費用	6,251	5,212
繰延税金資産	20,259	20,671
その他	2,959	4,873
貸倒引当金	△100	△100
流動資産合計	2,244,174	2,278,742
固定資産		
有形固定資産		
建物	43,931	43,931
減価償却累計額	△19,638	△21,742
建物(純額)	24,292	22,189
工具、器具及び備品	19,655	19,655
減価償却累計額	△12,474	△13,322
工具、器具及び備品(純額)	7,180	6,332
有形固定資産合計	31,473	28,521
無形固定資産		
のれん	1,120	—
ソフトウェア	566,337	518,744
電話加入権	1,383	1,383
無形固定資産合計	568,841	520,127
投資その他の資産		
投資有価証券	219,845	226,463
関係会社株式	161,665	196,525
保険積立金	42,218	49,788
その他	119,226	108,201
貸倒引当金	△112	△128
投資その他の資産合計	542,842	580,850
固定資産合計	1,143,157	1,129,499
資産合計	3,387,332	3,408,242

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年7月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	152,672	148,694
未払金	149,650	28,216
未払法人税等	131,938	160,782
賞与引当金	19,125	17,571
役員賞与引当金	28,000	14,000
その他	31,419	37,848
流動負債合計	512,806	407,112
固定負債		
退職給付引当金	90,142	85,714
役員退職慰労引当金	66,125	69,875
資産除去債務	9,173	9,251
固定負債合計	165,440	164,840
負債合計	678,247	571,953
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,100	436,100
資本剰余金	127,240	127,240
利益剰余金	2,079,000	2,188,140
自己株式	△1,606	△1,662
株主資本合計	2,640,734	2,749,817
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	68,350	86,471
評価・換算差額等合計	68,350	86,471
純資産合計	2,709,085	2,836,289
負債純資産合計	3,387,332	3,408,242

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年8月1日 至平成25年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年8月1日 至平成26年1月31日)
売上高	1,335,884	1,374,616
売上原価	483,217	505,221
売上総利益	852,667	869,394
販売費及び一般管理費	505,480	484,404
営業利益	347,186	384,989
営業外収益		
受取利息	154	169
受取配当金	432	494
有価証券利息	25	725
投資有価証券評価益	19,568	14,173
雑収入	495	472
営業外収益合計	20,675	16,035
経常利益	367,862	401,024
特別損失		
会員権評価損	1,344	—
固定資産除却損	—	7,692
特別損失合計	1,344	7,692
税引前四半期純利益	366,517	393,332
法人税、住民税及び事業税	128,410	157,592
法人税等調整額	17,587	610
法人税等合計	145,997	158,203
四半期純利益	220,519	235,129

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年8月1日 至平成25年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年8月1日 至平成26年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	366,517	393,332
減価償却費	89,587	98,510
のれん償却額	3,361	1,120
受取利息及び受取配当金	△586	△664
投資有価証券評価損益(△は益)	△19,568	△14,173
固定資産除却損	—	7,692
売上債権の増減額(△は増加)	17,976	13,342
たな卸資産の増減額(△は増加)	—	△1,423
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,691	△3,977
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,917	△1,554
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,000	△14,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△20,484	△4,428
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△15,954	3,750
未払金の増減額(△は減少)	△20,035	△19,435
未払消費税等の増減額(△は減少)	△15,011	9,156
その他	△4,177	△4,420
小計	363,018	462,827
利息及び配当金の受取額	611	1,389
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△165,185	△128,755
営業活動によるキャッシュ・フロー	198,444	335,461
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△1,760
ソフトウェアの取得による支出	△79,423	△155,895
その他の支出	△7,570	△7,570
投資活動によるキャッシュ・フロー	△86,994	△165,225
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△105,827	△125,813
自己株式の取得による支出	—	△56
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105,827	△125,869
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,622	44,366
現金及び現金同等物の期首残高	1,684,941	1,814,180
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,690,563	1,858,546

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

当第2四半期における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業別	前年同四半期 〔平成25年7月期〕 第2四半期		当四半期 〔平成26年7月期〕 第2四半期		(参考) 前期 (平成25年7月期)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
E D I 事業	1,132,591	84.8	1,176,537	85.6	2,281,336	84.7
データベース事業	192,279	14.4	188,084	13.7	390,338	14.5
その他事業	11,014	0.8	9,994	0.7	21,164	0.8
合計	1,335,884	100.0	1,374,616	100.0	2,692,839	100.0

以上